



学校だより「やまびこ」

No. 1 (2019. 4. 8)

校長 小川 太志

保護者の皆様、地域の皆様、はじめまして。この度の定期異動により諸塚小学校の校長を仰せつかりました 小川 太志（おがわ ふとし）と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

私の自己紹介はまたの機会にさせていただくとして、学校通信第1号は、本日の始業の日の様子を中心にお伝えいたします。



～ いよいよ新年度がスタートしました！～

平成31年度がスタートしました。始業の日から一人の欠席者もなく、元気なスタートが切れたことにまずは感謝です。

はじめに転入の職員、児童が子供たちに紹介され、新6年生の児童が心のこもった歓迎の言葉を述べてくれました。転入の職員、児童とも、とても勇気づけられました。ありがとうございます！

始業式では、さっそく新5年生の児童が全校児童・園児を代表して本年度の抱負を発表してくれました。内容はもちろん、堂々とした二人の立ち居振る舞いにととても感心しました。

さて、注目の学級担任等の発表では、子供たちはもちろん、我々職員も胸の高鳴りを隠せません（この瞬間の“ドキドキ わくわく”は何十回経験しても慣れることはありません！）。新しい担任が決まると子供たちは一様に落ち着いた表情を見せ、希望に満ちた一年に胸をときめかせていました。同時に、我々職員にとっても「この子供たちのために精一杯がんばるぞ」という意欲と責任を実感した瞬間でもありました。

始業式が終わり、各教室では担任や子供たちの自己紹介、学級目標や約束ごとについての説明や話し合いなどが行われました。いわゆる「学級開き」です。どの学級も時に活気ある、時に凜とした雰囲気がかげえ、この一年に寄せる子供たちの期待の大きさが伝わってきました。

「一年の計は元日にあり」ということわざがありますが、我々教師の間では、しばしば「学級づくりは最初の1週間にあり」と言われます。

“黄金の1週間”と例えられるこの期間を子供たちにも、そして職員にも大切にしたい、と願ひながら各教室の様子を見回りました。



学校通信「やまびこ」第1号、いかがだったでしょうか。今後も「家庭や地域に開かれた学校」を目指し、学校の取組や子供たちのがんばっている様子を「やまびこ」に乗せて積極的に伝えたいと思っています。

ご家庭でもお子様のがんばりをぜひ褒めてあげてください。この通信の内容がそのネタになってくれば、これほど嬉しいことはありません。次号もどうぞお楽しみに！